



# もりの手紙

mo ri no te ga mi



NO 285 / 2021

森にいこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

## 《安全第一!》

自分のために  
仲間のために  
家族のために

## contents

- ★例会案内：北広島町ゆとりの森  
「Welcom&ゆとりの森整備」  
4月25日(日)：《担当3班》  
..... 2
- ★3月例会報告  
「もりメイトキッズフィールド整備」  
2班・北田・佐々木  
..... 3
- ★3月部会報告 里山：岩田  
クラフト部会：本廣  
..... 4
- ★環研学習会：佐々木  
訃報：稲田様、中本様  
..... 5
- ★未来をつなぐ若者たちへ：山本  
「森のひと枝」販売  
..... 6
- ★「もりメイト育成講座指導員  
を初体験」：佐藤  
今月のひと枝・・・フッキソウ  
..... 7
- ★4月・各部の活動予定  
・ワークショップ案内  
・新年度会費納入のお願い  
..... 8



ロケットストーブ作成イベント(5月16日)の試作品で、熱々の豚汁を作りました。3月例会にて

## 私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆株式会社東和テクノロジー
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり



《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業：順不同：敬称略》

もりメイト倶楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

### 例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。

案内



Welcome

# 4月例会 = 地域貢献プロジェクト =



## 「ゆとりの森」眺望改善整備他《担当：3班》

～新年度最初の例会です。ようこそ！new face のみなさん。  
すてきな自然の中で私たちと一緒に気持ちの良い汗を流しましょう～

◆日 時： 4月25日（第4日曜）9時半～少雨決行  
※当日のリーダー・3班のメンバーは、現場説明・準備のため9時集合

◆会 場：【ゆとりの森】北広島町南方 3733  
※ナビで「ゆとりの森南方」を検索。または、『可部バイパス』を通り  
セブンイレブン広島上根バイパス店に9時に待ち合わせ。

◆持参物：山の道具・水筒・食器・名札・200円  
※ゆとりの森オーナー沖野さんのご厚意により、当日は おむすび、「しし汁」  
窯焼ピザなどを準備します。材料費200円ご協力ください。  
弁当はいりません。 ※マスクは忘れずに！



◆申込み：4月19日（月）までに各班長へ連絡  
※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は  
事務局へ電話かメールでご連絡下さい  
090-6419-7531 : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

ゆとりの森は、「ゆとりの森里山整備事業」として北広島町から認可を受けておられる沖野さん所有の森です。オーナーの沖野さんが何十年もかけて里山林を整備し、みんなが自然を体験し集える森を創って来られました。倶楽部との出会いは、平成28年6月に山本理事長が中国新聞「オピニオン」に掲載された記事をご覧になり「活動の場に使って下さい」と連絡を頂き、以後、整備を含め研修の場として活用させて頂いております。緑萌え出る雑木林に囲まれ、深呼吸したくなる事間違いなし！！当日はWelcome 例会として、楽しい企画も考えています。距離はありますが新緑を愛でながら是非ご参加を。



5月例会は、第4日曜(23日)尾長天満宮を予定しています。広島駅新幹線口から眺められる絶好の地の利です。



# 3月例会「もりメイトキッズフィールド整備」 28日(日)

in 大竹松が原 [2班担当] 参加者：35名(会員30名、大学生2名、一般3名)

『朝から雨。天気予報では午後から止むとの予報に期待し、1時間スタートを遅らせ10時の開始としました。前日にテントを張り、準備をしていましたが、なんと雨の重みで中央のロープを止めていた滑車が外れテントが落ちており、これを直すのに予想以上に時間を取られてしまいました。何とか10時のスタートには間に合いました。予報では昼までに雨が止む予定でしたが、昼を過ぎてもいっこうに雨の上る気配がなく、濡れて身体も冷えてきたこともあり体調を考慮し、午後からの作業は現場の片付けを終え終了としました。当日の主な作業は、倉庫のトタン屋根へ倒れ掛かった木や風倒木の処理を担当する伐倒班。テラスハウスの製作班。竹製すべり台の製作班、ブランコを設置する製作班などでした。今回初参加の広島経済大学の学生2名と、ご家族で参加された吉田さんの班にはフィールドの散策と椎茸の菌打ち作業を担当して頂きほぼ終了。予定していたバイオトイレの補修などは手付かずとなり、進捗状況は、全体で30%程度にとどまりましたが、雨にもかかわらず沢山の参加があり、皆の熱意が感じられた熱い例会でした。なお、4月3日以降土曜日毎にクラフト部会と有志を中心に作業を続ける予定です。』



雨の重みで落ちたテントをやっと修復！

2班 班長：北田正仁

『3月例会は、もりメイトキッズのフィールド整備でした。今回の例会には、雨にも関わらずたくさんの方が参加して作業していただき、感謝いたします。今年度のもりメイトキッズは6月20日(日)を皮切りに8月9日(月振休)、10月3日(日)の3回の開催予定としています。もりメイト倶楽部の皆さんに整備して頂いたこの松が原フィールドが、参加して下さるキッズやご家族はもちろん、足を踏み入れる方々に親しみ愛されるフィールド、子供たちの学びの場となるよう作り上げていけたらと思います。なお、今回の例会を開催するにあたり、テラスハウスを製作する上で設計から資材になる間伐材の調達、製材、搬入まで時間と労力を費やして下さった本廣クラフト部会長、竹原副理事長をはじめ関わっていただいた方々にお礼を申し上げます。』

環境教育研究会部会長：佐々木綾子



食事班に作って頂いた暖かい豚汁は、冷えた身体にはとてもありがたく美味しく頂くことができました。(左：囲炉裏小屋にて。右：テントにて密を避け



ブランコでは安全帯を着用しての高所作業となりましたが無事に設置。



竹を利用した滑り台は、竹の径がなかなか揃わず追加で2本ほど伐採しましたが、約8mほどの竹を運ぶだけでも時間がかかり、結局長さや幅が目立ってだけで終了となりました。





## 里山部会 3月14日(日) in: 小川フィールド

《参加者 21 名》

部会長：岩田幸信



里山部会初参加の塚本さんと、すぐ後が坂田さん。

今回の作業内容は、チェーンソー製材・竹林整備・会員の山田さん（白木町三田在住）から頂いた桐の木の丸太椅子の作成5脚（有効活用）・椎茸の菌打ち（技術継承）を行いました。チェーンソー製材は、道具箱を家に忘れるといったハプニングもありましたが、黙々と作業をこなしていました。竹林整備は、久しぶりにフィールド近くの竹林に入り、民家も近く伐倒位置に注意をしながら作業をしました。切った竹は竹炭用にフィールドに運搬、次回は竹炭用として加工する予定です。また、竹林近くの民家に倒れかけた竹があり、これも処理をしました（作業終了後に私が後片付けをしていたら、わざわざお礼に来られました）。椎茸の菌打ちは、今回は楢木が少ないた

め、初参加のメンバーを優先して作業にあたり午前中で仮伏せも終了。ベテランからの熱心な指導や質疑応答も沢山あり、しっかりと技術継承ができました。

昼食は、北田さん提供のアサリの味噌汁・甘酒・パウンドケーキを美味しく頂き、午後からは、竹林整備とチェーンソー製材に分かれ作業を行いました。

初参加の坂田さんはチェーンソーを体験し、「怖いけど、気持ち良い」との感想。今回は、5班の塚本さんと坂田さんが参加され、それぞれ終礼時にコメントを頂きました。塚本さん「これまでは例会中心で参加していたが、色々な作業を体験させて頂き、また、各部会にも参加したいです。」坂田さん「色々な作業を体験して、もっと勉強してまた参加をしたいです」。15時に解散。皆さんお疲れ様でした。

20年度は、新型コロナの自粛要請で2回、積雪で1回休みとなりましたが、それでも前年度よりも多い204名の参加者がありました。皆さんのご協力でご無事終了することが出来ました。次回の里山部会は、4月11日(日)小川Fで地域貢献の水路清掃を行います。7時50分小川F集合、草刈り隊3名・水路清掃5名が必要、ご協力をお願いします。里山部会は通常通り9時開始とし、竹炭作製準備をします。



## 3月クラフト部会

部会長：本廣良一

タラの芽が伸び、桜も見事に咲き終えて葉桜に変わりつつあります。蜜蜂も花を求め春がやってきました。

今月は白木町スクウスクの森に建てた四阿<sup>あずまや</sup>の看板板の製作、および大竹市松が原のテラスハウス（仮称）の柱や梁材製作、ブランコの踏板製作を行いました。長物は移動や加工が大変です。毎週土曜日の部会に集まり力を合わせて仕上げました。22日(月)に柱材の運搬、23日(火)に発電機他機材の運搬をし28日(日)の例会に備えました。また、床下4カ所の補強工事を行いテラス床も頑丈になりました。27日(土)には「児童デイサービスゆうゆう」にて木工クラフトを行い卒業記念にフォトスタンドと蝶を作りました。桜の枝をノコで切り出しますが、みんなノコの扱いがすごく上達し、真直ぐに切れるようになり、蝶を添えて春を感じる思い出作品に仕上がりました。

指導者は山本、本廣の2名、参加者は12名。今月の一般参加者12人、会員参加者41人。



もりメイトキッズのブランコ板製作(磯貝、松岡)



テラスハウス棟木加工(佐藤)



ゆうゆう卒業記念写真立て

# 環境教育研究部会 勉強会開催

3月8日(月曜日) 袋町ひと・まちプラザにて

部会長：佐々木綾子



3月の環境教育研究部会(環研)では、「広島県環境学習講師専門研修」で学んだ環境学習の必要性などの基礎知識を基に勉強会を行いました。

今やコマーシャルでも流れ、教科書にも載るほどに

SDGs(エスディーゼズ)が叫ばれています。「SDGs」とは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」のことです。世界では、貧困・差別・戦争・環境問題・感染症の拡大など様々な困難を抱え、今のままでは人類が地球で暮らし続けていくことが難しくなると言われています。その問題を解決するために「SDGs」が定められました。一人ひとりが環境について学び考え、後世に伝えていくことが重要とされています。参加者に環境問題、環境学習について興味・関心を持ったきっかけを伺ったところ、『今の地球環境に

対しそれぞれが危機を感じていて、どうにか環境破壊を食い止めたいから森林整備を行いたい。環境問題と向き合い知識を吸収したい。』等、熱い心意気を感じる事ができ嬉しく思いました。地球からの大きな視点で、これから未来を担う子ども達が安心して暮らせるよう環境教育に関心を持ち、大切さを実践でどのように伝えていったらよいかの勉強会を今後も行っていきたいと思います。

【基礎知識】 SDGs(エスディーゼズ)は、2015年9月の国連サミットで採択されました。国連加盟193か国が2030年までに達成を目指す国際社会の共通目標とし、「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されています。

身近なところでは食品ロスを減らす。ゴミをしっかりと分別してリサイクルに出す。プラスチックのゴミなどを減らすなど、暮らしの中で出来る事はたくさんあり



クラフト部会が様々な啓発活動の部材づくり等を行う拠点としてお借りしている、武田山「鹿ヶ谷」の地主の稲田様と、環境教育研究部会で地元の美味しい食材をお世話いただいた松が原の中本様が逝去されました。

稲田様にはクラフト部会が美鈴が丘を去らなければならなくなり、困り果てていた時に思い切ってご相談に伺った際に「お困りでしょう。どうぞ使ってください」と、鹿が谷のフィールドの使用を快諾いただきました。これまで土地問題で少々苦勞をしてきていましたから、執着のない清々しさ、温かさを感じ、懐の深い方に出会えたことに心から感謝しました。大変お世話になった恩人として、語り継いでいきたいと思ひます。これまで多くの方々に支えられて、倶楽部が発展できたことに感謝し、お二方のご冥福を心よりお祈りしたいと思ひます。

**「未来をつなぐ若者たちへ！」**  
～ひろしま森づくり啓発事業～  
**森林環境教育を7口フェーズ**  
理事長：山本恵由美



森づくりピア・エドゥケーター研修会：武田山にて

3月7日（日）に広島経済大学にて「ひろしま森づくり事業」普及啓発の一環として企画した、大学生を対象にした「森づくりピア・エドゥケーター研修会」を開催しました。

大学生には、社会に出る前にこれだけは学んでほしいと思うことがある。それは人々の日常生活と自然環境との関係性。そこに息づく動植物をはじめ、地域の人々の暮らし等々の多様さに支えられ、生かされていることに気づくこと。入口として、命の源と言って過言ではない「森林」を切り口に様々な体験活動をとおして、保全の重要性を理解し関心を高めること。その上で地球規模の視点で問題や課題を見つけ出し、持続可能な社会づくりを考察する。そこから育まれた力を、今度は「伝える力」として伝道者となるよう、その成長を心から願っている。

今回の企画を思い立ったのは、大学に隣接する「武田山」を舞台に、実際に活動している大学生が年に一度、地域の子どもたちを森に招待して遊んでいることを聞き、少々手厳しいが「ただ楽しむだけのレクリエーションでいいのか？」と、抜本的にプランの見直しを提案したかったから。

テーマは『見つけよう、私たちの森づくり活動』。まず、自然・森に関わることは責任が伴うこと、守り伝える役目があることを再認識してもらうこと。学生相互の学び合いと集団を指導するための基礎的な技術を習得することを目的にしました。一日のプログラムを実際に参加者となって楽しく段階的に理解が深まっていくことを体感する手法をとり、最後にグループの目的を再チェックすることから企画づくりのプロセスまでを伝え、研修を修了しました。

後日、受講した学生が『地域資源である「武田山」の魅力を発信し、その保全や活用を通じて「まち」の活性化を図る』という3ヶ年計画書を作成し、倶楽部の例会にも参加して本気度を見せてくれました。情熱は必ず未来に繋がって行くと確信。喜びを噛みしめています。



**= 販売します「森のひと枝」 =**

毎月掲載している「今月のひと枝」が一冊の本になっています。もりメイト倶楽部 20周年記念としてまとめたもので、創立当初1997年10月から2017年12月まで約230種が収録されています。もりメイト倶楽部の歴史を垣間見ながら、木々や草花を通してゆらり自然散策してみませんか。

販売数には限りがあります。申し込みお問い合わせは下記まで。

**【1冊 1,000円（送料別）】**

**電話、又はメールでお申し込み下さい。**

**【電話】090-6419-7531**

**【Email】info@morimate-ch.com**

## “25期もりメイト育成講座”の指導員を体験して

「森を愛する仲間が増える事ってたのしいですね。」 4班：佐藤 謙治

森林ボランティア活動を始めて間もない私に指導員の依頼があったとき、とても指導員の器ではないとお断りしました。しかし、日頃より登山、草花、樹木など自然が好きで、もりメイト倶楽部に入会してから森は際限なくスキルが必要なジャンルだと感じていました。また、時間がある限り例会、部会、公共の森に関する各教室を受講し、森と対等に付き合い定年後のライフワークとしたいかと思っていてもあり引き受けさせて頂きました。

育成講座受講生は年代が30～60歳と幅があり、里の両親の里山荒廃、自然の荒廃、治水対策、ボランティアなど様々な思いで受講されています。指導に当たり講座内容を予習し臨むのですがなかなか教科書通りにはいきません。家に帰り復習反省しながらの指導で



育成講座：ひろしま市民の里@安佐にて

したが、講座の講師・他の4名の指導員の皆さまの助けもあり、何とか職責を果たせたのではないかと感じております。また、ますます森の魅力に引き込まれていく楽しさを実感しました。

最終講座の「枝打ち」指導では、ヒノキの成長を願い「枝座」を痛め

ないように黙々と枝打ち作業を進める中で誰彼となく「先代の植林地があるが手入れが行き届かない」「森林ボランティアを楽しみたい。」「定年後は裏山で自伐とツリーハウスを作りたい」などの話が交わされ、私もメンバーの安全を監視しつつ、ボランティア活動・もりメイト倶楽部・森の楽しみ方など話にわりながら、無事ヒノキの枝打ち作業を終了しました。

帰り際、メンバーの皆さまから指導のお礼の言葉をいただき、新たな森を愛する仲間が加わったこと、参加メンバー皆さま間の連帯感ができたことに嬉しく思い、充実した体験ができました。

これからも楽しみながら、森を愛する仲間を増やしていけたらいいなと思っております。



原田 澄



### フッキソウ (富貴草)

<ツゲ科・フッキソウ属>

山地の林内でみられる高さ20～30cmの多年草または常緑小低木。茎は肥大生長するが木化することはなく、草本と木本の間隔的な性質を併せ持つ。北海道から九州に分布し、地を這うように茎を伸ばし、その先に葉が輪生状に付く。葉は、長さ3～8cmの卵状楕円形で上半分に粗い鋸歯を持ち、つややかな革質の葉が美しいので庭園等のグランドカバーに用いられる。春には白い花を穂状に咲かせ、秋に白い実を熟す。名の由来は、常緑でよく茂るさまを繁栄にたとえて。花言葉は「吉事」「良き門出」。・・・▼プランターに植えられたフッキソウがいつの間にか花を付けていた。花は地味で目立たないけれど、青々とした元気な葉と名前がいい。▼新年度を迎え沢山の仲間が増えた。そしてまもなく、山々の樹々も緑が萌えはじめ、春を美しく演じる頃。人も、自然界も活気に満ちる季節到来。どうか、安全で楽しい活動の良き門出となりますように。～佐伯区湯来町 2021・4月～



## —4月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

- 日時：4月12日(月) 18:30~19:30
- 場所：袋町交流プラザ
- 内容：主にワークショップ「ロケットストーブ」のプログラムの打合せを行いたいと思います。

### 【ロケットストーブを作ろう!】

★★ワークショップのご案内★★

・日時：5月16日 10時開始

《製作時間は約2時間の予定。

参加人数次第で時間に変更あり》

・場所：松が原キッズフィールド

・講師：北田正仁(2班)

・参加費：3,000円

当日はロケットストーブを使って、料理のデモンストレーションを行います。ロケットストーブ製作終了後は、弁当を持参してキッズフィールドを散策していただいて構いません。新緑が芽生える心地よい季節を感じてみませんか？

■連絡先：佐々木

[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)



環研  
部会

■日時：4月11日(第2日曜) 9時~

■場所：「小川フィールド」

安佐北区白木町中三田地区

■作業：竹炭作成準備・草刈り  
水路清掃

■持参品：水筒・弁当・山の道具

■連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会



■4月24日(土)【児童デイサービスゆうゆう  
木工クラフト】(広島市中区)

★★皆様の参加お待ちしております★★

■3日(土)、10日(土)、17日(土)

テラスハウス(仮称)組上げ(大竹市松が原)

【材料製作】：安佐南区山本町鹿ヶ谷

■連絡先：本廣 090-4141-8603

クラフト  
部会

5月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

■日時：5月6日(木) 18:00~20:00

■場所：市民交流プラザ 3F

今月から新年度です。会費の入金をお願いします。  
個人年会費は3,000円、振込先は下記の通りです。  
よろしくお願いいたします。



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

### 会員の種類

【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3

【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)